

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	13	—	事業名	観光交流推進事業	担当部課	くらし文化部 たつせがある課
------	----	---	-----	----------	------	----------------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リニモでにぎわい交流するまち			
		分野別項目	10	にぎわいあふれる新たな観光交流を進める			
		施策の進め方	1	魅力の創出			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 長久手市観光交流基本計画の理念にのっとり、観光資源の開発、観光交流施設、行事等の紹介、宣伝を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民・観光者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) リニモを基軸としたネットワークで点在する観光資源や歴史的・文化的資源を結ぶことで、新たな観光交流を推進し、魅力あるまちづくりを目指す。					
	事業を構成する事務事業	① 観光PR事業	継続	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算 決算			
	人件費(B)	千円	決算				9,394
	総コスト(A)+(B)	千円	決算				21,254

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 観光者数	千人	目標	2,600	2,700	2,750	3,000	
			実績	2,655	2,727	2,777	3,231	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 観光客の増加を目的とし、観光者数を成果指標とする。

B

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市観光協会、瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会、豊明市観光協会、みよし市観光協会 平成28年1月に長久手市観光交流協会が独立した。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 補助金を交付している市観光交流協会が、市内外での観光イベントでブースを設置し、観光ガイドブックや市内集客施設のパンフレットなどで市の観光PRや交流などを行った結果、観光者が増加し、目標値を達成した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 観光資源を活用したPRは行っているが、施設間や団体間の連携はあまり出来ていないため、連携する必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 観光施設や商工団体、住民団体等との連携を強化して、既存の観光資源を最大限に生かしながら、長久手の新たな魅力を創出する人材の発掘、育成を行う。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	観光交流推進事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	観光PR事業								
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市観光交流協会が、市内外での観光イベントでブースを設置し、観光ガイドブックや市内集客施設のパンフレットなどで市の観光PRや交流などを行う事業に対して補助金を交付する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 交流を促進し、市の活力と魅力を高める。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				18,000
		決算				11,860

3. 活動推移

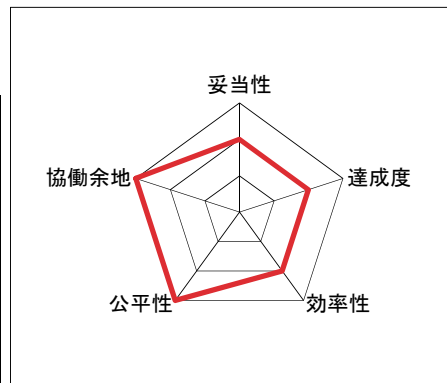
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
補助金交付	千円	目標	20,000	14,466	13,200	18,000	
		実績	20,000	14,466	13,200	11,860	
観光者数	千人	目標	2,600	2,700	2,750	3,000	
		実績	2,655	2,727	2,777	3,231	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成28年1月に市から観光交流協会が独立した。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 観光施設、商工団体、住民団体等との連携を強化して、既存の観光資源を最大限に生かしながら、長久手の新たな魅力を創出する人材の発掘、育成を行うため、引き続き協会へ補助金を交付する。
--